

平成 21 年 10 月 16 日

各 位

会 社 名 旭 化 成 株 式 会 社  
代 表 者 名 代表取締役社長 蛭田史郎  
(コード番号:3407 東京・大阪・名古屋 各第1部・福岡・札幌)  
問 合 せ 先 取締役上席執行役員 水野雄氏  
(TEL 03-3296-3008)

平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（連結・個別）業績予想との差異に関するお知らせ

平成 21 年 8 月 4 日に公表した平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）の連結業績予想、及び平成 21 年 5 月 12 日に公表した平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間の個別業績予想との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

なお、平成 22 年 3 月期通期の業績予想については、第 2 四半期決算発表時に見直す予定です。

## 記

### 1. 業績予想との差異

#### (1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	651,000	5,000	3,500	0	0.00
今回発表予想 (B)	665,000	16,000	13,500	4,000	2.86
増減額 (B-A)	14,000	11,000	10,000	4,000	—
増減率 (%)	2.2	220.0	285.7	—	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 21 年 3 月期)	843,185	40,139	40,665	23,415	16.74

#### (2) 個別

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,000	3,500	3,500	4,500	3.22
今回発表予想 (B)	11,500	5,000	6,000	7,000	5.01
増減額 (B-A)	500	1,500	2,500	2,500	—
増減率 (%)	4.5	42.9	71.4	55.6	—

### 2. 差異の理由

連結業績につきましては、昨年度発生した金融危機による製品需要の大幅な減少と、それに伴う急激な在庫調整の影響が一服し、ケミカル事業の製品販売数量が回復傾向にあったことや経費の減少、住宅事業においてコストダウンが順調に進捗したことなどから、前回発表予想との差異が生じました。個別業績につきましても、経費の減少に加え、借入金利が想定よりも低く推移したことから、前回発表予想との差異が生じました。

\*上記の連結業績予想及び個別業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

以 上